

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月28日

群馬県知事 あて

提出者 〒372-0855

住 所 群馬県伊勢崎市長沼町1741-1

氏 名 株式会社 明治 群馬工場

工場長 由井 正之

電話番号 0270-32-6631

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 明治 群馬工場
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市長沼町1741-1
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	15,336.409t	全処理委託量	1,651.209t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	168.445t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1,650.167t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	13,685.200t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

不要物等発生量

有償物量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排出量
① 11694.352t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
②
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
④
⑤ t

項目	実績値	
①排出量	11694.352t	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量	10,545.4t	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1,148.952t	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	245.935t	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,148.945t	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量		t

項目	実績値	
④自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	891.6t	t
④のうち熱回収を行った量 ⑦	10,545.4t	t
自ら中間処理により減量した量 ⑨		t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩		t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪		t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫		t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑬		t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑭		t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

項目	実績値
①排出量	3.460t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
③自ら熱回収を行った量	t
④自ら中間処理により減量した量	t
⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	3.460t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.430t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.460t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後 の残さ量

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑯のうち再生利用業者への処理委託量

⑰のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑱のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量

⑲のうち優良認定業者への 処理委託量

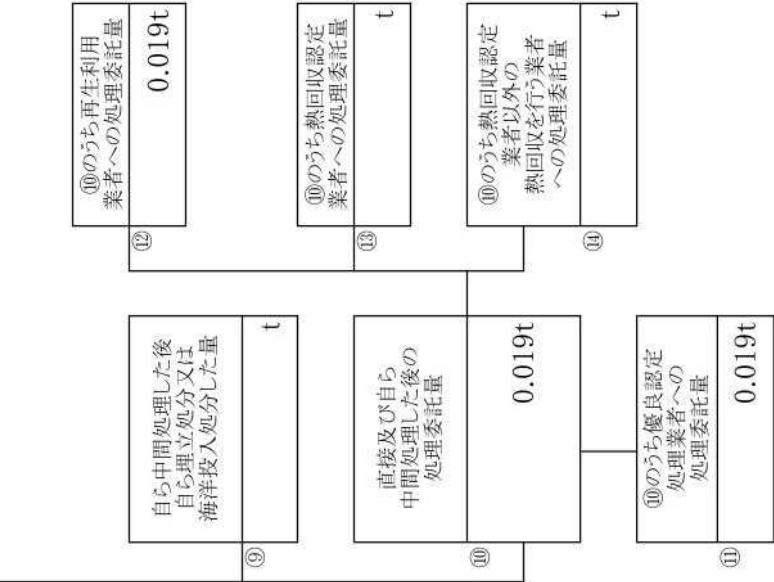
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 落酸)



項目	実績値	
①排出量	0.019t	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	0.019t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.019t	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.019t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t	
⑭熱回収を行ふ業者への処理委託量	t	



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：隆プラスチック類)



不要物等発生量
↓
① 有償物量

自ら直接
再生利用した量
↓
② 206.035t

排出量
↓
③ 206.035t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
↓
④ 206.035t

項目 実績値
↓
①排出量 206.035t

自ら中間処理
した量
↓
④ 206.035t

自ら中間処理に上
り減量した量
↓
⑦ 206.035t

自ら熱回収
を行った量
↓
⑤ 2.265t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
↓
⑨ 206.000t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑩ 206.000t

⑪ 2.265t
↓
⑫ 2.265t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑭ 2.265t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
↓
⑬ 2.265t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑮ 2.265t

自ら直接
再生利用した量
↓
⑧ t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑯ t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑰ t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑱ t

自ら中間処理した後
業者への処理委託量
↓
⑲ t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値	
①排出量	0.470t	
②+⑧自ら再生利用を行った量	t	
⑤自ら熱回収を行った量	t	
⑦自ら中間処理により減量した量	t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t	
⑩全処理委託量	0.470t	
⑪優良認定業者への処理委託量	t	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.470t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t	
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	t	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)



不要物等発生量
有償物量

自ら直接
再生利用した量
②

排出量
① 54.740t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

実績値
54.740t
④

自ら中間処理
した量
⑥

自ら再生利用を行った量
② + ⑧

自ら熱回収を行った量
④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理により減量した量
⑥

自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑦

全處理委託量
54.740t
⑩

優良認定業者への
處理委託量
⑪

再生利用業者への處理
委託量
⑫

熱回収認定業者への処
理委託量
⑬

熱回収を行う業者
への處理委託量
⑭

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後
自ら中間処理により減量した量
⑩

自ら中間処理した後
直接及び自ら
中間処理した後の
處理委託量
⑪

自ら中間処理した後
自ら熱回収認定
業者への處理委託量
⑫

自ら中間処理した後
自ら熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への處理委託量
⑬

自ら中間処理した後
自ら熱回収認定
業者への處理委託量
⑭

(第2面)

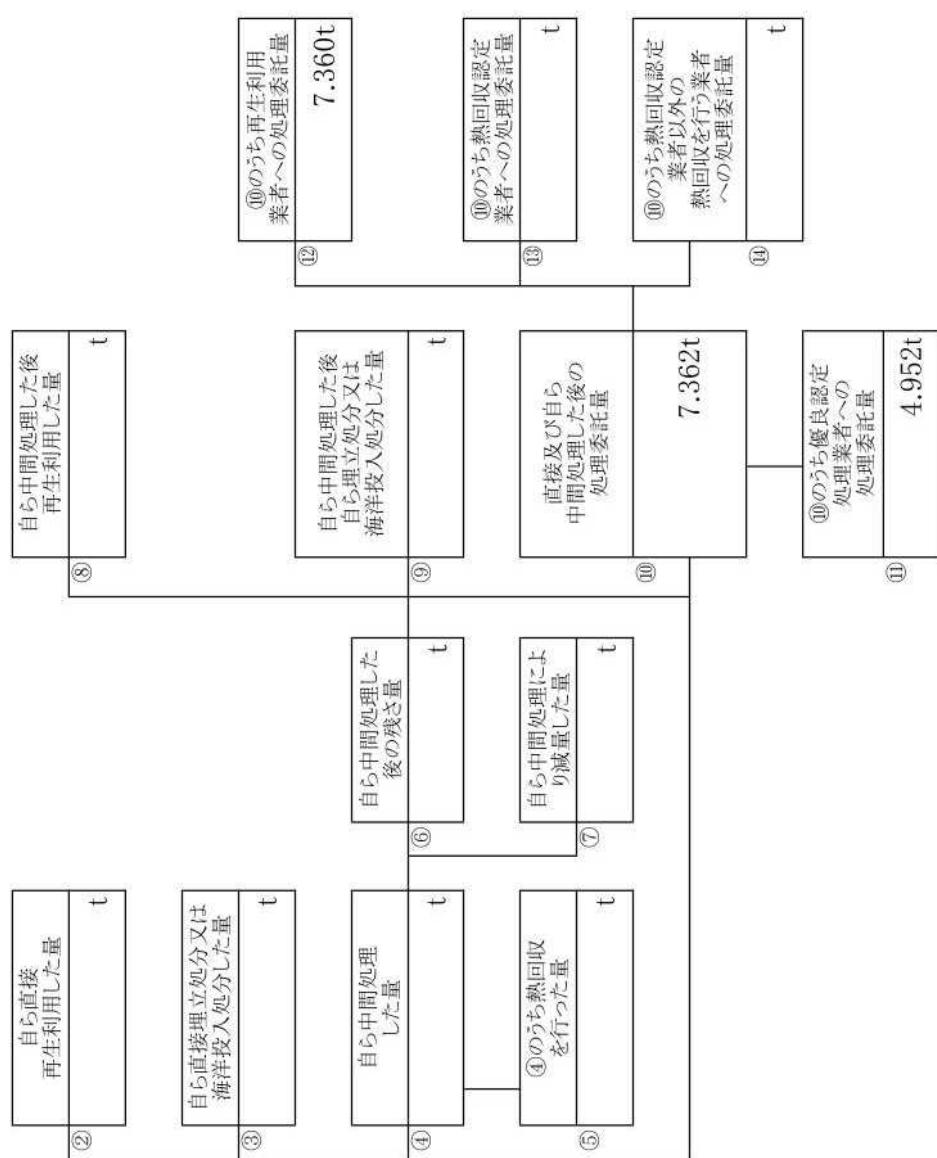
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)



項目	実績値
①排出量	7.362t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	7.362t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.952t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.360t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



不要物等発生量

有償物量

自ら直接
再生利用した量
t

① 排出量
0.794t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
t

項目 実績値

①排出量

t

②+⑧自ら再生利用を行った量

t

⑤自ら熱回収を行った量

t

⑦自ら中間処理により減量した量

t

⑨自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

t

⑩直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

t

⑪⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

t

⑫⑩のうち優良認定
業者への処理委託量

t

⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳⑳のうち熱回収を行
う業者への処理委託量

t

自ら中間処理した後
再生利用した量
t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
t

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。